

なぜ「戦略」
で
差がつくのか。

なぜ 「ファンを」
大切にすると
差がつくのか。

アジャイルメディア・ネットワーク マーケティング部 藤崎 実

赤本



白本

顧客視点の 企業戦略

アンバサダープログラムの思考
Corporate Strategy of Customer's Perspective

藤崎 実 + 徳力基彦

〇宣伝会議

人口減少! 高齢化!

企業が
激動の日本市場を生き抜くために
`顧客の問題解決の実践、
が必須条件だ。` ネスレ日本 代表取締役社長兼CEO 高岡浩三

宣伝会議

マーケティングを身につけたい ビジネスパーソン必読の2冊。

＜基本＞と＜実践＞を完全マスター

真の顧客視点「アンバサダープログラム」を徹底解説。

顧客視点の 企業戦略

アンバサダープログラムの思考
Corporate Strategy of Customer's Perspective
藤崎 実 + 徳力 基彦

企業が
活動の日本市場を生き抜くために
顧客の問題解決の実践
が必須条件だ。高岡通三

藤崎 実・徳力 基彦 共著 定価本体1,800円＋税

「戦略」の正しい理解と
使い方を徹底解説。

なぜ「戦略」 で「差」がつくのか

2つの要素さえ押さえれば、
あなたは戦略を使いこなせる

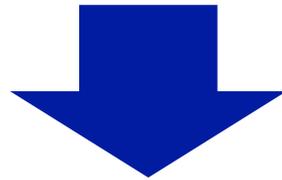
定価本体1,800円＋税

持続 資本

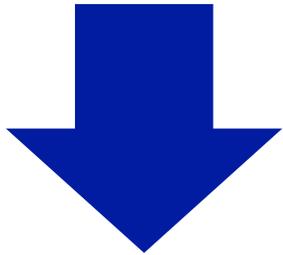
いい会社」に投資し
日本一をとった
兼倉投資がみつけた
信頼と共感で成り立
経済のしくみ

里山資本主義

なぜ戦略が必要なのか



資源には限界があるから



内部資源

- 人材
- 製品技術、製品やサービス
- 資金や予算
- 製造技術や流通技術
- ブランド
- 時間、人脈、経験や知識

認識しにくい内部資源

「埋没した資源を発見し掘り起こすことは、創造的な戦略を組み立てるのに非常に重要である」 (p.123)

- スキル
- 技術、能力
- コアコンピタンス

音部大輔 (2017) 『なぜ「戦略」で差がつくのか』、宣伝会議

外部資源

- 代理店
- メディア媒体、取引先、提携先
- カスタマー

認識しにくい外部資源

「決定的な競争優位をもたらすこともある」
(p.132)

極めて
重要な資源

- 政府、業界団体、オピニオンリーダー
- ブランドのファン



ファンとは企業やブランドの
外部資源である

動に大きな影響をもたらすような分野においては、彼らの支持をいかに確保するかという
のは重要なテーマになるだろう。

◆ユーザー(ブランドのファン)

特にブランド・マネジメントにおいては、ロイヤル・ユーザーはきわめて重要な資源で
あることがよく知られている。ロイヤル・ユーザーとは、いわばブランドのファンである。

これらロイヤル・ユーザーに対して的確にメッセージを配信することで口コミを誘引し
たり、彼らの家族や友人といった社会的なネットワークでブランドを薦めてもらったりす
ることもできる。直接的なマーケティング活動ではないので、面としての効果を期待しに
くかつたり、コントロールが難しかったりという不安定さは否めない。しかしながら、い

広報PR活動と同じように、こういった口コミは担当者が直接的に管理できるものでは
ない。とはいえ、口コミが広がりやすい状況というのは存在する。具体的には、次の4点
を満たしていることで、伝播力が上がることがある。

- ①誰もが知っているトピックについて、②まだ多くの人が知らない側面の話、つまり
ニユース性のある話を、③それぞれが投影したい自分像と一貫性のある形で、④誰もがス
トーリーとして話せるような起承転結のある筋書きが用意されていること。

これは、よく広まるゴシップの条件でもある。広まるゴシップは、そのコミュニティで
誰もが知っている人やモノについてのものだ。同時に、その特定の話はまだ多くの人が知
らない。だから話題に選ばれる。話をするときに、話の内容と自分自身が倫理的・人格的に
一貫性を感じることができないと話す気になれないかもしれない。そして、話し上手では
なくてもちゃんと話せるよう、話しやすいストーリーになっていることが多いのではなか
らうか。ユーザーの影響力を最大化させるにあたって、このゴシップの法則を知っておく
と効果があるかもしれない。

◆場合の活動

もしもこの本を認読しにくい外部資源のひとりで、ときに著大な影響力を持つことがあるのが
ユーザーの活動のあり方である。

ファンとは企業やブランドの 外部資源である

ロイヤル・ユーザーに対して的確にメッセージを配信することで
口コミを誘引したり、彼らの家族や友人といった社会的な
ネットワークでブランドを薦めてもらったりすることもできる。

直接的なマーケティング活動ではないので、
面としての効果を期待しにくかったり、
コントロールが難しかったりという不安定さは否めない。



アンバサダー
プログラム

しかしながら、いわゆるコマーシャルでないがゆえの
メッセージの信憑性や効果が非常に強力であることも多い。

アンバサダープログラム

ファン = 既存顧客 = 外部資源

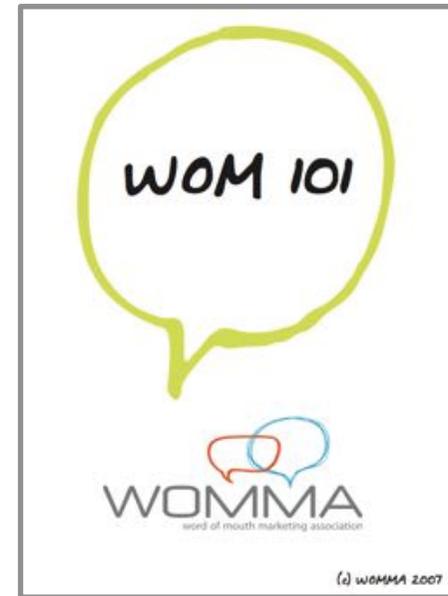


この外部資源を大切にすることで
今までのマスマーケティングで
難しかったことが、いろいろできる

→ そのひとつが WOM マーケティング



= WOM (Word of Mouth)



米国「WOMマーケティング協会」

の定義ではインターネット上のWOMには2種類ある

Organic WOM 自然発生的なクチコミ

→企業努力を行うことで、自然発生的に起こす



Amplified WOM マーケターが関与する マーケティング手法

→計画的なプログラムによって効果を高めることができる

Amplified WOMとは



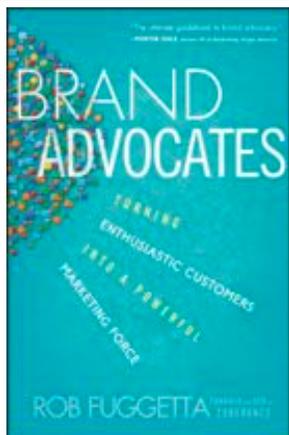
クチコミを創造することはできない



もともと発生しているクチコミを
さらに増やすことはできる

→コミュニティに対して働きかける

推奨する消費者＝ブランド・アドボケイツ



ロブ・フュジエッタ
(2012)

「ソーシャル・メディアの発展に伴い顕在化した
ブランドやプロダクトを推奨してくれる
満足度の高い顧客たち」



ファンが語る言葉を増やす



Fuggetta Rob (2012) Brand advocates: turning enthusiastic customers into powerful marketing forces. John Wiley & Sons.

1. 定義

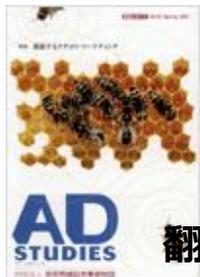
WOMMAでは、クチコミとクチコミ・マーケティングを以下のように定義しています。

クチコミ: (Word of mouth)

消費者が、他の消費者に情報を提供する行為。

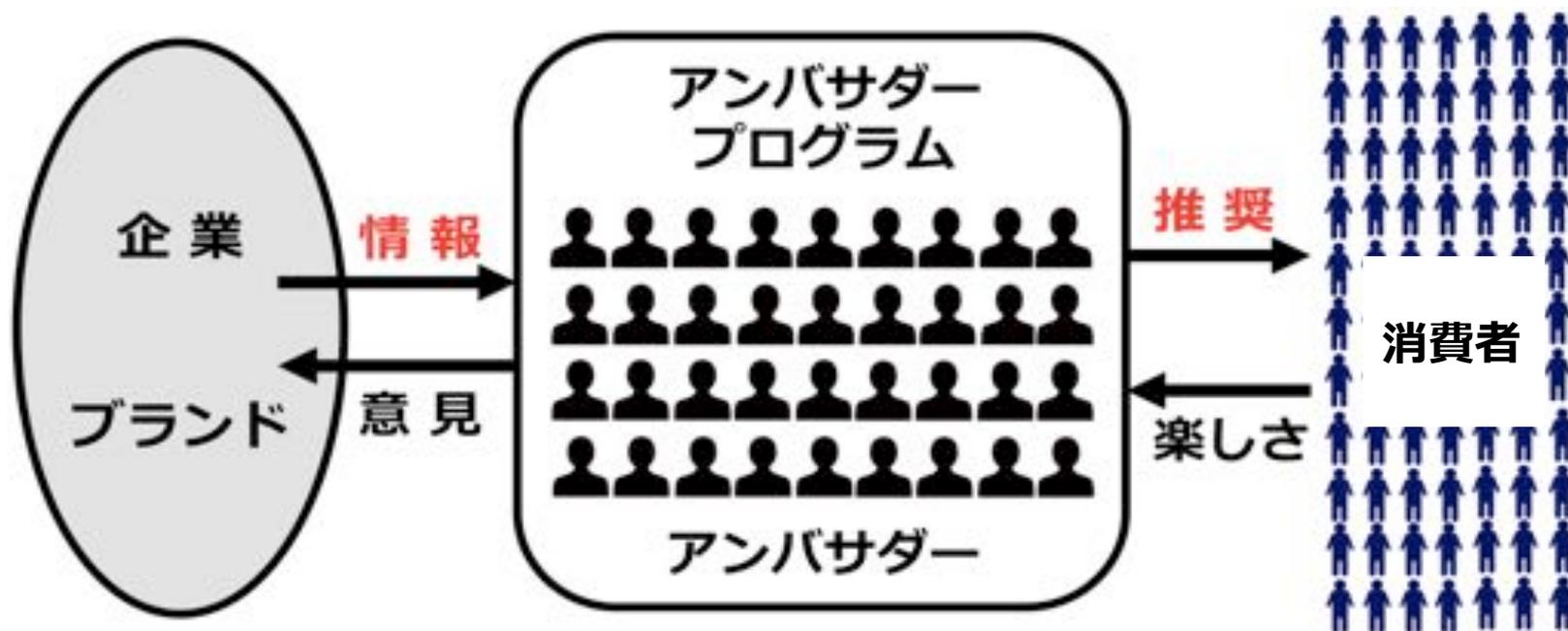
クチコミ・マーケティング: (Word of mouth marketing)

商品やサービスを話題にする理由を人々に与えること、
および話題にしやすくすること。



翻訳『AD STUDIES Vol.20』（2007）特集 進展するクチコミ・マーケティングより

WOMマーケティングを実現させる現実的なカタチ



アンバサダープログラム

マスマーケティング型

大量の新規顧客の認知を獲得して
商品やサービスを購入してもらう

【情報元は企業】



AIDMAの法則

アンバサダープログラム型

ファンやアンバサダーのクチコミを軸に
して評判が広がる仕組みを構築する

【情報元は顧客】



AISASモデルを逆さまに

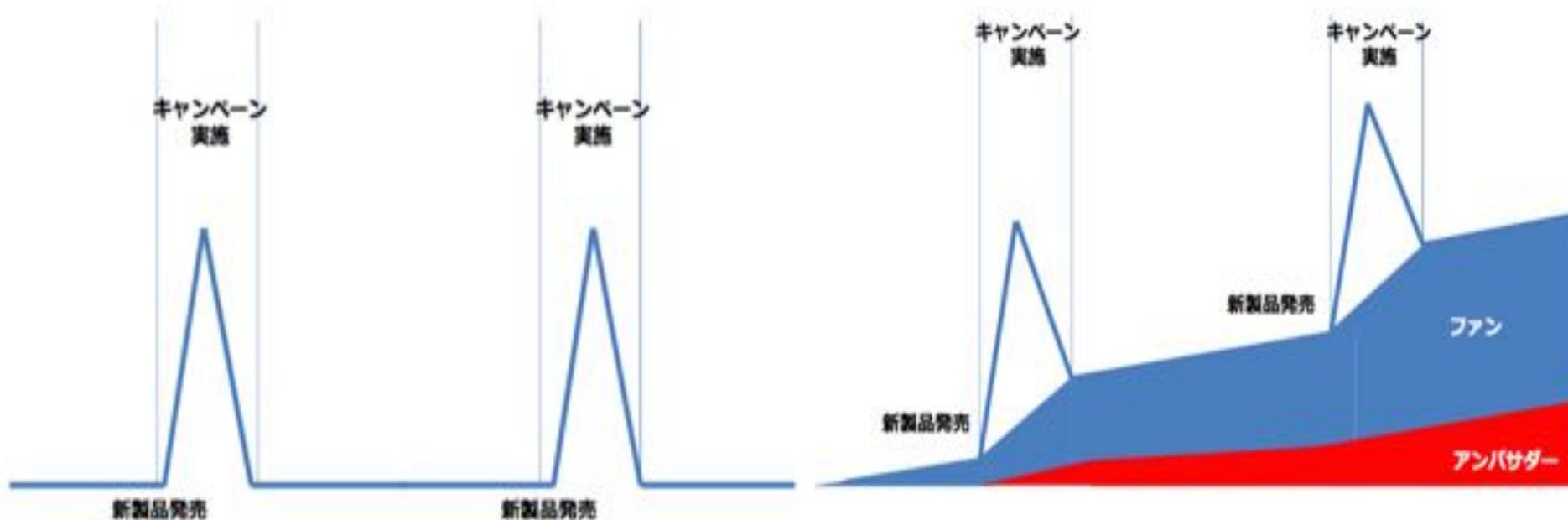
アンバサダープログラム

マスマーケティング型

単発キャンペーン型

アンバサダープログラム型

中長期ストック型



ファンという外部資源を企業が 上手に活用するのがアンバサダープログラム



=ファン

=既存顧客

=認識しにくい
外部資源

**企業がファンと一緒に
長期的な視点で共生していく時代**

ありがとう
ございました

アジャイルメディア・ネットワーク マーケティング部 藤崎 実